

### 3. 5年目の施策の振り返りについて

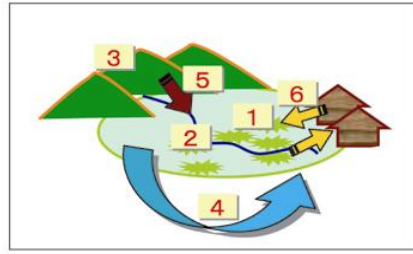
# 3-1. 5年目の施策の振り返りについて

- ・ 釧路湿原自然再生全体構想が2005年（平成17年）3月に策定され、今年3月で5年が経過しました。
- ・ 自然再生事業を効率的、順応的に実施していくため、全体構想の中で、各施策の達成状況は5年ごとに点検し、10年ごとにそれに基づき施策と評価方法を見直すことが掲げられています。

【目指すべき姿】=再生に携わる人が共有できる将来像、夢

【目標】=流域全体としての到達すべき3つの目標

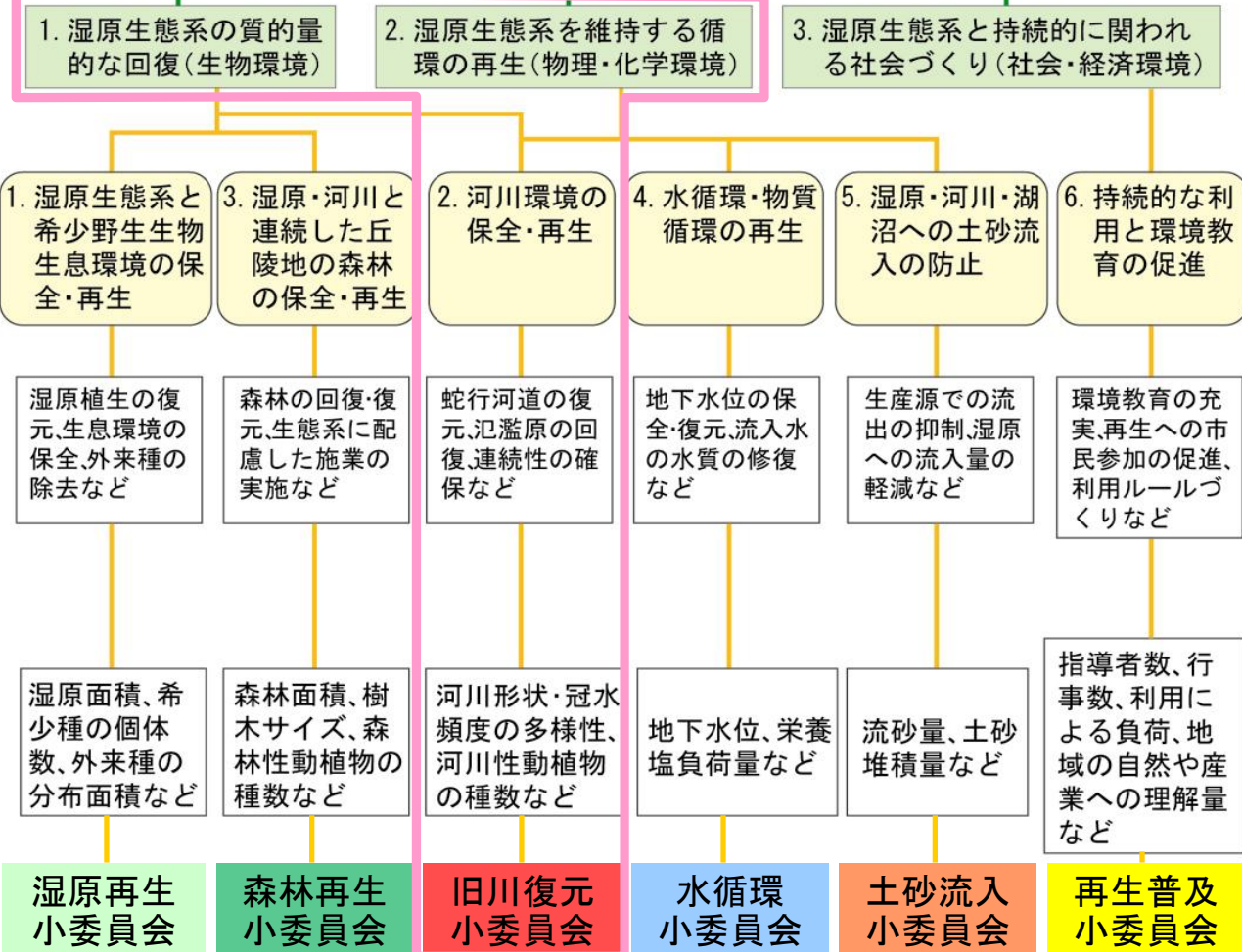
【施策】=各目標を達成するための6分野における具体策



【評価基準】=各施策が達成されたかどうかを評価するための基準

目標、施策、評価基準の関係と区分方法について(全体構想より)

○シマフクロウ・イトウなどの生き物が暮らし、人々に恵みを持続的にもたらしてくれる湿原  
○ラムサール条約登録前のような湿原環境



# 3-1. 5年目の施策の振り返りについて

・全体構想の「評価基準」に基づき「施策」の達成状況を評価・点検します。

**釧路湿原自然再生全体構想 策定 2005年(平成17年)3月**

**【 目 標 】**

- 1. 湿原生態系の質的量的な回復（生物環境）
- 2. 湿原生態系を維持する循環の再生（物理・化学環境）

**【 施 策 】**

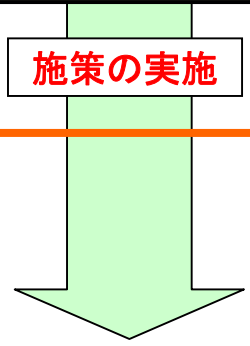
**2. 河川環境の保全・再生**

蛇行河道の復元、氾濫原の回復、連続性の確保 など

**【 評 価 基 準 】**

（施策が達成されたかどうかを評価するための基準）  
河川形状・冠水頻度の多様性、河川性動植物の種数など

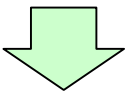
**茅沼地区旧川復元実施計画 策定 2006年(平成18年)8月**



2010年(平成22年)  
[5年経過]

**施策の振り返り方法の提案**  
(第15回自然再生協議会 2009年(平成21年)1月20日実施)

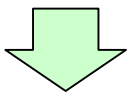
- ・各施策の振り返りは、6つの小委員会がそれぞれ独自にプランを立てて実施する。
- ・各施策の振り返りに加え、全体構想そのものについても必要に応じて評価、検討する。
- ・各施策の振り返り及び全体構想の評価、検討結果は、次回の協議会で報告し議論する。



**施策の達成状況の振り返り**

**施策の振り返りの実施**

**【評価基準】に基づき【施策】の達成状況を評価**



**振り返り状況の報告**  
(第13回 旧川復元小委員会)

各施策の達成状況は、5年ごとに点検し、10年ごとにそれに基づき施策と評価方法を見直す。  
(釧路湿原自然再生全体構想より)

# 3-1. 5年目の施策の振り返りについて

【旧川復元小委員会】

## 【茅沼地区旧川復元事業の振り返り結果】

A. 流域全体での評価基準	評価結果(案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●良好な環境を有している河川の総延長の増加</li> <li>●河畔林や氾濫原の面積・分布・冠水頻度分布</li> <li>●河川指標種・希少種の個体数・分布面積の安定化、絶滅確率の減少</li> <li>●湿原への土砂・栄養塩の流入量の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な環境を有している河川延長は、約2.4km増加した。</li> </ul>
A. 流域全体での振り返り結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅沼地区旧川復元実施計画を策定し、事業を実施中。</li> </ul>
B. 手法の実施結果の評価基準	評価結果(案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●氾濫面積、冠水頻度、地下水位動態 (目標となるモデルとの比較)</li> <li>●水理諸量や底質などの物理環境の復元状況 (目標となるモデルとの比較)</li> <li>●河川指標種・希少種の個体数・分布面積の安定化、絶滅確率の減少</li> <li>●移動性通過魚類の分布・採餌環境の量</li> <li>●下流部に位置する湿原への土砂流入の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧川復元区間の河川の形状、流速、水深、底生動物相、湿原景観は、旧川通水後、目標となるモデルに類似した。</li> <li>・旧川復元区間の周辺では、旧川通水後、冠水頻度が増加した。</li> </ul>
B. 手法の実施結果の振り返り結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング調査により、事業実施による効果を検証中。</li> </ul>
総合評価(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング調査を継続し、事業実施による効果を検証する。</li> <li>・モニタリング調査では、市民との連携により実施する。</li> <li>・世界的に希な旧川復元の取り組みを積極的にPRする。</li> <li>・他の河川についても、事業実施に向けた検討を進め早期に実施計画を策定し釧路湿原の自然再生を推進する。</li> </ul>